

2024 年度第 1 回理事会議事録

2024 年 4 月 19 日（金）17 時 00 分～19 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web 会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長）石田博美 太田三郎 大岡聡 齊藤正美

長谷川元彦 比江島大和 福光寛 柳啓明

理事 9 名中 9 名出席（太田、大岡、長谷川は Web 会議システムによる参加）

出席監事は以下の通りである。

井上礎幸 国吉昌晴 2 名中 2 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、石田博美理事、柳啓明理事を選任した。

[報告事項]

●刊行物について

▼ 編集委員会

齊藤正美理事は、No.122 と No.123 の進捗状況、新たな連載特集のテーマの検討、編集委員の人事について審議が行われたと報告した。

▼ 政経研究時報

齊藤壽彦代表理事より、27-1 号の進捗状況について報告が行われた。

●公開研究会

齊藤壽彦代表理事より、2024 年度第 1 回公開研究会研究報告として、5 月 18 日に田中信孝元岩手県立大学教授による「金融緩和政策と『財政ファイナンス』を巡る諸問題 ―各種データを手懸かりに考察―」が研究所で行われる予定であることが報告された。また、2024 年度第 2 回公開研究会研究報告として、8 月 26 日に深澤映司氏（元国会図書館立法考査局専門調査員）による「消費税の減税・廃止論をどのように考えるか ―所得税との比較による論点整理―」が別館映像講話室で行われる予定であることが報告された。

●各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、中小企業問題研究室・金融問題研究室から 2024 年 9 月 28 日に栗原拓氏、枝村圭一郎氏、一富肇資氏、角信明氏、太田三郎氏による共同研究報告「ピンチをチャンスに変える秘訣の分析―理論と実務の融合の試み」が行われる予定であること、6 月に石井泰幸千葉商科大学教授による現代企業の現状と課題に関する研究報告が行われる予定であることが報告された。また、国際問題研究室・現代経

済研究室から 6 月 28 日に片山ゆき氏（ニッセイ基礎研主任研究員）による「高齢化が進む中国の社会保障制度の現状と問題点」に関する研究報告が行われる予定であることが報告された。さらに、国際問題研究室からは 10 月 4 日、5 日、7 日のいずれかに斉藤美彦氏（大阪経済大学教授）による内生的貨幣論に関する報告、7 月に永田伸吾氏（金沢大学 人間社会研究域 法学系 客員研究員）によるアセアンに関する研究報告、孫智本研究所主任研究員による中国の不動産問題の現状に関する研究報告が行われる予定であることが報告された。

●大島資料について

柳理事より、3 月以降ふじみ野市で開催された会合の概要が説明され、ふじみ野市教育員会に対して、資料の寄贈打診に対する質問を行いことが報告された。

●その他研究委員会から

研究員登録名簿、『中小企業問題』総目次の進捗について、2024 年 6 月 3 日に研究倫理講習会が開催される予定などの報告が行なわれた。

●東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事より、下記の通り報告が行われた。

2023 年度の来館者数はコロナ前には届かないが回復傾向にあり、2024 年度の年間目標は 1 万人。オンライン利用者も含めた総利用者数を記録していく予定。会費と募金は目標に達せず、一昨年のような大口募金がないと達成が困難であり、新規会員獲得も必要。書籍の売上は図録中心で安定しており、写真使用料は一昨年度と同様。団体来館は増加しているが、秋以降の予約はまだ少ない。学芸部門では、早乙女勝元さんの資料分類と共有、教職員研修会の実施、常設展の展示見直しが進行中で、特に鎌田早苗ちゃんの着物は重要展示として劣化対策を施しながら継続展示が検討されている。事業報告は案について 5 月運営委員会で審議する。4 月 30 日に拡大運営委員会（参加者：運営委員、職員、体験者、ガイドボランティア）を開催し、戦後 80 年事業担当者からのプレゼンテーションや質疑応答が行われる。インターンシップ受け入れや受付業務のアルバイト募集、文化施設訪問記録サービスの画像提供などが進行しており、会員制度の見直しの検討も行われている。

●ハラスメント関連対応について

石田理事より、ハラスメントの防止を目的とした研修を、6 月 24 日 14 時～14 時 30 分に行うとの報告が行われた。

[審議事項]

第 1 号議題 2024 年度研究費配分について

議案 1

柳理事は研究委員会の決定として、2024 年度の研究費配分額を下記の通り報告した。また、配分額の審議にあたっては、①研究の新規性、②財団の事業への貢献度、③研究の多様性を考慮したと補足した。

【個人研究】

1. 枝松正行: (仮題)『経済学批判要綱』『序説』の掲載中止問題と「広義の経済学」の方法, 配

- 分額: ¥30,000
2. 小笠原美果: 芸術とプロパガンダ, 配分額: ¥40,000
3. 山田寿則: 核軍縮・不拡散レジームの内外における条約運用とその影響に関する実証的研究, 配分額: ¥30,000
4. 井上祐子: 新体制期における津久井龍雄の言説分析, 配分額: ¥40,000
5. 富永望: 京大の戦争協力―谷口吉彦の事例―, 配分額: ¥40,000

【プロジェクト研究（代表者名）】

1. 福光寛: 現代経済システムの研究, 配分額: ¥90,000
2. 小藺崇明: 空襲体験の「継承者」育成と育成プログラムに関する研究, 配分額: ¥80,000
3. 吉田裕: 平和学習プログラムおよび教材の開発に関する研究: 戦災資料センターの展示・図録・体験記などの活用, 配分額: ¥80,000
4. 野口邦和: 環境・廃棄物・エネルギー問題の研究, 配分額: ¥60,000
5. 青木哲夫: 「都内戦災殉難者霊名簿」・「東京大空襲・いのちの被災地図」を中心とした東京空襲の被害と避難に関する研究, 配分額: ¥70,000
6. 澁谷朋樹: 関係人口の創出によるコミュニティの場としての商店街活性化に関する研究, 配分額: ¥60,000
7. 太田三郎: 経営行動におけるピンチをチャンスに変える秘訣の分析, 配分額: ¥90,000
8. 山本唯人: 東京大空襲の体験記と空襲記録運動に関する研究, 配分額: ¥90,000

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成でこの提案を可決した。

第 2 号議題 評議員会の日程

議案 1 評議員会を 6 月 14 日 17 時～19 時に開始する。

齋藤正美業務執行理事は、2024 年 6 月 14 日（金）19 時～より、2024 年 6 月定時評議員会を開催することを提案した。

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成でこの提案を可決した。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。
以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2024 年 4 月 26 日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦

署名人 大岡 聡
太田 三郎

出席監事 井上 礎幸
国吉 昌晴

(代表理事)
捨印
(理事)

捨印 捨印

(監事)

捨印 捨印

2024 年度第 2 回理事会議事録

2024 年 5 月 17 日（金）17 時 00 分～19 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web 会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長）石田博美 太田三郎 大岡聡 齋藤正美

長谷川元彦 比江島大和 福光寛 柳啓明

理事 9 名中 9 名出席（井上、太田、大岡、長谷川、柳は Web 会議システムによる参加）

出席監事は以下の通りである。

井上礎幸 国吉昌晴 2 名中 2 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、長谷川理事、比江島理事を選任した。

[報告事項]

●刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事は、No.122 と No.123 の進捗状況、新たな連載特集のテーマの検討、編集委員の人事について審議が行われたと報告した。

▼ 政経研究時報

齊藤壽彦代表理事より、27-1 号の進捗状況について報告が行われた。

●公開研究会

齊藤壽彦代表理事より、2024 年度第 1 回公開研究会として、5 月 18 日に田中信孝元岩手県立大学教授が「金融緩和政策と『財政ファイナンス』を巡る諸問題 ―各種データを手懸かりに考察―」を報告する予定と発表された。また、第 2 回は 8 月 26 日に深澤映司氏（元国会図書館立法考査局専門調査員）が「消費税の減税・廃止論をどのように考えるか ―所得税との比較による論点整理―」を報告する予定とされた。第 3 回または第 4 回は、11 月または 2025 年 2 月頃に戦災資料センター関係者による報告が予定されている。

●各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、中小企業問題研究室・金融問題研究室共催の研究報告として、2024 年 9 月 28 日に中小企業問題研究室実学研究会（栗原拓氏、枝村圭一郎氏、一富肇資氏、角信明氏、太田三郎氏）による「ピンチをチャンスに変える秘訣の分析―理論と実務の融合の試み」が Zoom で行われる予定であることが報告された。また、

2024 年 6 月 15 日に石井泰幸千葉商科大学教授による「現代企業の現状と課題」に関する研究報告が Zoom で行われる予定であることが報告された。

さらに、現代経済研究室・国際問題研究室共催の研究報告として、2024 年 6 月 28 日に片山ゆき氏（ニッセイ基礎研究所保険研究部主任研究員）による「中国の少子高齢化と社会保障制度」が本館 3 階会議室で対面および Zoom で行われる予定であることが報告された。また、2024 年 10 月 5 日に齊藤美彦氏（大阪経済大学経済学部教授）による「ホモ・クアンティカンズと貨幣―『価値形態論』から『負債論』へ」が本館 3 階会議室で対面および Zoom で行われる予定であることが報告された。

さらに、2024 年 12 月以降に吉田真広（駒澤大学経済学部教授）による「債務国家資本主義―現代資本主義の蓄積構造」に関する研究報告が対面および Zoom で行われる予定であることが報告された。2025 年 2 月以降には内田真人氏（成城大学社会イノベーション学部教授）による「金融イノベーションについて」（仮題）の研究報告が対面および Zoom で行われる予定であることが報告された。

国際問題研究室からは、2024 年 7 月に永田伸吾氏（金沢大学 人間社会研究域 法学系 客員研究員）による「アセアンについて」（仮題）、および孫智本研究所主任研究員による「中国の不動産問題の現状」（仮題）が研究所での報告+Zoom で行われる予定であることが報告された。

●大島資料について

柳理事は、ふじみ野市の担当者より質問状に対して次の通り回答があったと報告した。

寄贈を判断した理由と経緯について、平成 13 年度から開始した大島家文書の整理が令和 5 年度に完了し、全国的レベルの資料が多数確認されたため、専門的な研究機関での保存が最適と判断。貴財団は最適な寄贈先として決定。／寄贈依頼プロセスにおける市民や外部有識者の関与はなく、教育委員会が組織的に決定。／寄贈依頼品のリストは完成しており、目録は刊行準備中。／協力の範囲は、大島家文書の調査結果を活用する際の資料の複写等を可能な範囲で協力すること。／貴市は、当財団の事業方針（約 2 年の保管後、外部の永続的保管機関を捜索）について了解。

この回答に対し、柳理事は寄贈希望品リストとして公刊目録を求める方針を示した。

●その他研究委員会から

研究員登録名簿、『中小企業問題』総目次の進捗について、2024 年 6 月 3 日に研究倫理講習会が開催される予定などの報告が行なわれた。

●東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事は、次の通り報告を行った。

4 月の寄付金は 72 万円弱であった。このうち、寄付プラットフォーム Syncable（クレジットカード決済の関係で 3 月分を 4 月に入金）扱いは 10 万円ほどあり徐々に定着してきている。

来館の状況は団体一覧表に見る通り、春の修学旅行が復活して団体来館者が多くなっている。

昨年度に引き続き、アメリカ・イエール大学からインターンとして、ソン・タンイさんを 5 月 3 日から 30 日までの予定で受け入れている。英語、中国語、日本語が堪能

なので、日本語コンテンツの英語訳・中国語訳、外国人来館者の対応を行っている。
センターの業務分担表を共有したが、常勤学芸を中心に少人数で多くの業務をこなしている状況である。受付スタッフは退職後の補充が少なく、週2日は内勤・学芸スタッフで対応している。

2024年～2025年は東京大空襲および戦後80年の大きな節目を迎えることから、「東京大空襲および戦後80周年に関する拡大運営委員会」第1回を4月30日に開催した。運営委員・職員・体験者・ガイドボランティアの関係者全体で、センター一丸となって取り組んでいく。連続市民講座、多摩空襲80年、80周年記念特別展、証言映像の制作・配信等の事業概要について提案を行った。会員制度の見直しについては、要検討課題として早急な変更は見送ることとした。事業の進捗状況などに応じて今後も拡大運営委員会を重ねていく。

●業務執行報告

齊藤壽彦代表理事、石田博美業務執行理事、齋藤正美業務執行理事より業務執行報告が行われた。

[審議事項]

第1号議題 定時評議員会提出書類について

議案1 2023年度事業報告書について

齋藤正美業務執行理事は、事業報告書の「Ⅰ概況」、「Ⅱ事業報告－公益目的事業Ⅰ（公Ⅰ）」、「管理業務」について報告を行った。石田業務執行理事は、同じく「Ⅱ事業報告－公益目的事業Ⅱ（公Ⅱ）」について報告を行った。

理事会は、審議中指摘された箇所に対する修正を条件として、有効議席8名中8名の賛成で、2023年度事業報告書を可決した。

議案2 2023年度決算書について

長谷川理事は、2023年度決算書の報告を行った。

理事会は、2023年度決算書を、有効議席8名中8名の賛成で可決した。

議案3 監事監査報告書について

井上監事と国吉は、5月12日に開催された監事監査について報告し、当財団の会計・業務はともに適正との監査結果を報告した。

理事会は、監事監査報告書を、有効議席8名中8名の賛成で可決した。

以上を持って、Web会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。
次回以降の理事会は、2024年6月14日（金）、7月19日（金）、9月20日（金）、10月18

日（金）、11月15日（金）、12月20日（金）に開催予定である。

以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2024年 5月24日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦



署名人 長谷川元彦



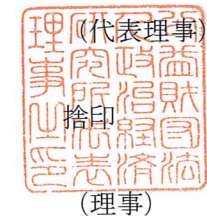
比江島大和



出席監事 井上 礎幸



国吉 昌晴



(監事)



2024 年度第 3 回理事会議事録

2024 年 6 月 14 日（金）15 時 30 分～17 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web 会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長）石田博美 太田三郎 齋藤正美
長谷川元彦 比江島大和 福光寛 柳啓明

理事 9 名中 8 名出席（比江島、太田は Web 会議システムによる参加）

出席監事は以下の通りである。

井上健幸 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、福光理事、齋藤正美理事を選任した。

[報告事項]

●刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事は、No.122 と No.123 の進捗状況、新たな連載特集のテーマの検討等について審議が行われたと報告した。

▼ 政経研究時報

齊藤壽彦代表理事より、27-1 号の進捗状況について報告が行われた。

●公開研究会

齊藤壽彦代表理事は、2024 年度第 1 回公開研究会として、5 月 18 日に田中信孝元岩手県立大学教授を報告者に「金融緩和政策と『財政ファイナンス』を巡る諸問題 ―各種データを手懸かりに考察―」を開催したと報告した。また、第 2 回は 8 月 26 日に深澤映司氏（元国会図書館立法考査局専門調査員）が「消費税の減税・廃止論をどのように考えるか ―所得税との比較による論点整理―」を報告する予定とされた。第 3 回は、11 月 9 日に田中禎昭（専修大学教授）が「戦争とトラウマ（仮題）」を報告する予定とされた。

●各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、各種研究会の開催予定について報告がおこなわれた。前回理事会の報告内容と相違ないため、本議事録では省略する。

●大島資料について

柳理事は、この間のふじみ野市郷土資料館とのやりとりについて報告した。また、6 月 23 日に、ふじみ野市内で文京学院大教員やふじみ野市 OB・OG らと会合を行うこ

とを報告した。

●その他研究委員会から

柳理事から、研究員登録名簿の作成について報告が行われた。また、2020 年度から研究会・公開研究会・ウェブサイト訪問者数などの実績が報告、2023 年度の研究費助成の成果・会計報告、研究者倫理講習会の開催報告、今後の報告者選定の在り方についての報告が行われた。

●東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事は、東京大空襲・戦災資料センターの運営報告について報告を行った。

●奨励賞選考委員会

齋藤正美業務執行理事は、奨励賞選考委員会の委員。

●ハラスメント研修

石田理事は、ハラスメント研究の実施について報告を行った。

●財政対策プロジェクト

長谷川理事は、自らを座長として、石田業務執行理事、齋藤正美業務執行理事、比江島理事、福光理事、柳理事を構成員とする財政対策プロジェクトの立ち上げを報告した。

6 月に方向性を確認し、7 月に各部門で実施内容を検討・確認し、8 月に課題の確認・実施を行う見通しが示された。

●評議員会の次第について

齋藤正美理事は、この後行われる評議員会の次第について報告を行った。

[審議事項]

第 1 号議題 ~~2023~~ 2024 年度第 3 回公開研究会

議案 1 公開研究会の開催について

齊藤壽彦代表理事は、~~2023~~ 2024 年度第 3 回公開研究会を、11 月 9 日に、田中禎昭氏（専修大学教授）を報告者として、「戦争とトラウマ（仮題）」と題して開催するとの提案を行なった。

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成でこの提案を可決した。

第 2 号議題 研究員の任期延長について

議案 1 山中勇毅客員研究員の任期を 2 年間延長する

齊藤壽彦代表理事は、山中客員研究員の任期を 2 年間延長する提案を行なった。

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成でこの提案を可決した。

第 3 号議題 保有マンションの買い替え

議案 1 保有マンションの買い替えを代表理事に一任する

長谷川理事は、①目白台 101 号室が 4 月に空き家になり修繕の見積もりが来ていること、②修繕代金の回収にかかる期間、③修繕を行わずに開会を検討する方針、④3 業者による売却額査定の結果、⑤今後のスケジュールについて報告を行った。そのうえで、目白台芙蓉ハイツ 101 号室の売却および代わりの取得物件について、必要な一般媒介契約について、代表理事に執行を一任することを提案した。

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成でこの提案を可決した。

第 4 号議題 『政経研究』制作の委託

議案 1 『政経研究』編集・印刷業務を上野教信氏に委託する

齋藤正美業務執行理事は、『政経研究』編集・印刷業務に関する株式会社蒼天社との業務請負契約案を示し、契約締結の提案を行なった。

理事会は、この提案を有効議席 7 名中 6 名の賛成で可決した。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。

次回以降の理事会は、7 月 19 日（金）、9 月 20 日（金）、10 月 18 日（金）、11 月 15 日（金）、12 月 20 日（金）に開催予定である。

以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2024 年 6 月 21 日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦



署名人 齋藤正美



福光 寛



出席監事 国吉昌晴



(代表理事)

捨印

(理事)



(監事)



2024 年度第 4 回理事会議事録

2024 年 7 月 19 日（金）17 時 00 分～19 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web 会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長） 石田博美 大岡聡 太田三郎 齋藤正美
長谷川元彦 比江島大和 福光寛 柳啓明
理事 9 名中 9 名出席（大岡、太田、比江島 Web 会議システムによる参加）
出席監事は以下の通りである。

井上礎幸 国吉昌晴 2 名中 2 名出席
ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。
代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、石田理事、柳理事を選任した。

[報告事項]

- 刊行物について
 - ▼ 編集委員会
齋藤正美理事は、No.122 と No.123 の進捗状況、新たな連載特集のテーマの検討等について審議が行われたと報告した。
 - ▼ 政経研究時報
齊藤壽彦代表理事より、27-2 号の進捗状況について報告が行われた。
- 公開研究会
齊藤壽彦代表理事は、第 2 回は 8 月 26 日に深澤映司氏（元国会図書館立法考査局専門調査員）が「消費税の減税・廃止論をどのように考えるか ―所得税との比較による論点整理―」を報告する予定と報告した。第 3 回は、11 月 9 日に田中禎昭（専修大学教授）が「戦争とトラウマ（仮題）」を報告する予定とされた。
- 各種研究会
齊藤壽彦代表理事より、各種研究会の開催予定について報告がおこなわれた。
 - ・9 月 28 日に中小企業問題研究室・金融問題研究室共催で「ピンチをチャンスに変える秘訣の分析―理論と実務の融合の試み―」
 - ・10 月 5 日に現代経済研究室・金融問題研究室共催で「ホモ・クアンティカンズと貨幣―「価値形態論」から「負債論」へ―
 - ・2024 年 12 月以降に現代経済研究室・金融問題研究室共催で「債務国家資本主義―現代資本主義の蓄積構造
 - ・2025 年 2 月以降に現代経済研究室・金融問題研究室共催で「金融イノベーションに

- ついて」（仮題）
- 大島資料について
柳理事は、この間のふじみ野市郷土資料館とのやりとりについて報告した。また、6 月 23 日に開催されたふじみ野市内で文京学院大教員やふじみ野市 OB・OG らと会合の内容、7 月 26 日（金）に文京学院大学で「ふじみ野戦後地域資料を読む（仮）」研究会第 1 回（準備会）を開催する予定について報告した。
- その他研究委員会から
齊藤代表理事は、公開研究会の在り方と今後の講師の方向性について、研究委員会で審議中であると報告した。
- 東京大空襲・戦災資料センター運営報告
石田理事は、東京大空襲・戦災資料センターの運営委員会について、「遺骨霊名簿」のデジタル化を外注するため一部外部へ持ち出すことを承認したこと、市民講座の内容や予算に関すること、財政対策プロジェクトに関することについて審議を行ったと報告した。
- 奨励賞選考委員会
齋藤正美業務執行理事は、奨励賞選考委員会の状況について、今年度の選考の見送りを視野に入れて検討していると報告を行った。
- 保有マンションの買い替え
長谷川理事は、6 月 28 日に目白台芙蓉ハイツ 101 号室の買い付けについて、3 社から申し出があり、7 月 21 日にグローバルベイス株式会社と 3550 万円で契約を締結し、9 月 13 日に引き渡し予定であると報告した。購入については審議事項で記す。
- 財政対策プロジェクト
長谷川理事は、財政対策 PJ を、7 月 12 日に開催したことを報告した。財政基盤を整えるための、公益事業Ⅰ・Ⅱそれぞれの課題を確認し、8 月に実施する見通しが示された。

[審議事項]

- 第 1 号議題 『政経研究時報』の編集業務委託について
議案 1 澁谷朋樹氏に『政経研究時報』No.-27-2 の編集を業務委託する
齋藤壽彦代表理事は、澁谷朋樹氏に『政経研究時報』No.-27-2 の編集を業務委託することを提案した。
理事会は、有効議席 8 名中 8 名の賛成でこの提案を可決した。

- 第 2 号議題 公開研究会
議案 1 2024 年度第 3 回公開研究会を開催する
石田理事は、2024 年度第 3 回公開研究会を、田中禎昭専修大学教授を報告者として、「戦争とトラウマ（仮題）」をテーマに開催するとの提案を行った。
理事会は、有効議席 8 名中 8 名の賛成でこの提案を可決した。

- 第 3 号議題 マンション買い付け
議案 1 マンション買い付けを代表理事に一任する

長谷川理事は、賃貸用不動産の購入について、8月19日に、8月30日を締め切りとする買い付けの依頼を出し、締め切り日に買い付けの優先順位を代表理事を中心に協議する見通しを報告した。そのうえで、購入について代表理事に一任する提案を行った。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成でこの提案を可決した。

第4号議題 科学研究費に関する責任体系の明確化に関する人事変更

議題1 松田真由美氏の退職に伴い、その役割を柳事務局長／理事が担う。

柳理事は、松田真由美氏の退職に伴い、科学研究費に関する責任体系の明確化を推進するための人事として、事務処理手続きの相談窓口および検収員に欠員が生じているため、この役割を自身が担うことを提案した。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成でこの提案を可決した。

以上を持って、Web会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。

次回以降の理事会は、9月20日（金）、10月18日（金）、11月15日（金）、12月20日（金）に開催予定である。

以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2024年 7月26日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦



署名人 石田 博美



柳 啓明



出席監事 国吉昌晴



井上礎幸



(代表理事)

捨印

捨印

柳

(監事)

捨印

捨印

2024 年度第 5 回理事会議事録

2024 年 9 月 20 日（金）17 時 00 分～19 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web 会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長）石田博美 太田三郎 大岡聡 齋藤正美

比江島大和 福光寛 柳啓明

理事 9 名中 8 名出席（大岡、太田は Web 会議システムによる参加）

出席監事は以下の通りである。

井上礎幸 国吉昌晴 2 名中 2 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、大岡理事、太田理事を選任した。

[報告事項]

●刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事は、No.123 の進捗状況、新たな連載特集のテーマの検討等について審議が行われたと報告した。

▼ 政経研究時報

齊藤壽彦代表理事より、27-2 号の進捗状況について報告が行われた。

●公開研究会

齊藤壽彦代表理事は、第 3 回公開研究会を、11 月 9 日に田中禎昭（専修大学教授）が「戦争とトラウマ（仮題）」を報告する予定と報告した。

●各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、各種研究会の開催予定について報告がおこなわれた。前回議事録と同様の報告内容のため省略する。

●大島資料について

柳理事は、2024 年 7 月 26 日にふじみ野市の文京学院大学において開催された、文京学院の教員、ふじみ野文化協会の職員、地域住民らとの会合について報告を行った。文京学院大学が郊外論再審プロジェクトとして公式に大島家文書を含めた戦後地域史料の調査をはじめたことや、ふじみ野文化協会と文京学院大学の共催による「ふじみ野地域史講座」の日程、資料の価値をアピールするためのワークショップ、今後の活動の方針について報告された。

●その他研究委員会から

齊藤代表理事は、会員に関する規程、奨励賞の取り扱い等について研究委員会で審議中であると報告した。また、10 月から研究委員長を福光理事と交代すると予告した。

●東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事は、2024 年 9 月 9 日に開催された東京大空襲・戦災資料センターの運営委員会について、岩波新書『戦争ミュージアムー記憶の回路をつなぐ』にセンターが紹介されたこと、東京大空襲を語り継ぐつどいの開催が 2025 年 3 月 9 日（日）江東区森下文化センターに決定したこと、事業の進捗状況の報告事項等のほか、三多摩平和交流企画「多摩地域の空襲 80 年を考える」講演・学習会（仮題）への講演依頼、アルバイトの採用（主に体験記録の文字起こし）、財政対策プロジェクト等の審議等を行ったと報告した。

●ロスナイのリモコン交換、雨漏り修繕について

石田業務執行理事は、映像講話室の換気装置（ロスナイ）のリモコン交換の見積もりと、2 階展示室の雨漏り修繕の完了について報告した。

●財政対策プロジェクト

柳理事は、公益事業Ⅰの財政対策として立案された「2024 年内の会員増加に向けた行動計画」について報告を行った。石田理事は、公益事業Ⅱの財政対策として、事業の役割分担等について報告した。

[審議事項]

第 1 号議題 保有マンションの買い替え

議案 1 経過と買い付けについて改めて承認する。

齋藤代表理事は、保有マンションの買い替えに関するこの間の動きと検討内容について報告し、フェルクルール東京スカイテラスⅡの購入する契約を結ぶことについて提案した。

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成でこの提案を可決した。

第 2 号議題 自動販売機の設置について

議案 1 研究所に自販機を設定する

石田理事は、ダイドードリンコ株式会社が作成した「自動販売機設置 御提案書」について報告し、同社の自動販売機を設置する契約を結ぶことについて提案した。

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成でこの提案を可決した。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。
次回以降の理事会は、10 月 18 日（金）、11 月 15 日（金）、12 月 20 日（金）に開催予定で
ある。
以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

公益財団法人政治経済研究所

議 長 齊藤 壽彦



署 名 人 大岡 聡



太田三郎



出席監事 国吉昌晴



井上礎幸



捨印

(理事)



(監事)



2024 年度第 6 回理事会議事録

2024 年 10 月 18 日（金）17 時 00 分～19 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web 会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明がお互いのできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長） 石田博美 太田三郎 大岡聡 齋藤正美 長谷川元彦
比江島大和 福光寛 柳啓明

理事 9 名中 9 名出席（大岡、太田は Web 会議システムによる参加）

出席監事は以下の通りである。

国吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、長谷川理事、比江島理事を選任した。

[報告事項]

●刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事は、No.122 の振り返り、No.123 の進捗状況、新たな連載特集のテーマの検討等について審議が行われたと報告した。

▼ 政経研究時報

福光理事より、27-3 号の進捗状況について報告が行われた。

●公開研究会

福光理事は、第 3 回公開研究会を、11 月 9 日に田中禎昭（専修大学教授）が「戦争とトラウマ（仮題）」を報告する予定を報告した。

●各種研究会

福光理事より、各種研究会の開催予定について報告がおこなわれた。各種研究会で予定していた内田真人氏の報告を公開研究会に変更する。そのほか、10 月 5 日の齊藤美彦報告の実施、吉田真宏氏との報告開催の調整について報告が行われた。

●大島資料について

柳理事より、大島家文書の進捗状況について報告がおこなわれた。代表理事名でふじみ野市教育委員会教育長宛に提出する文書文案おける、ふじみ野市・文京学院大学・当財団による分有と、その協議を行うための場の提案について説明があった。文案を修正し、近日中にふじみ野市へ提出する。

●その他研究委員会から

福光理事より、『政経研究』奨励賞の再設計、会員に関する規程の改訂の進捗につい

て報告が行われた。

●東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田業務執行理事より、東京大空襲・戦災資料センターは運営委員会前のため、次回理事会において報告をおこなうとされた。

●財政対策プロジェクト

長谷川理事より、財政対策プロジェクトチームでは 9 月理事会で報告済みの事項について実施中であり、その中間報告を 10 月 28 日に行うことが報告された。

●保有マンションの買い替え

長谷川理事より、フェルクルール東京スカイテラスⅡの購入について、当財団を買うとする不動産売買契約を、2024 年 9 月 29 日付で結んだことが報告された。

[審議事項]

第 1 号議題 第 4 回公開研究会

議案 1 第 4 回公開研究会の開催について

福光理事は、現代経済研究室・金融問題研究室共催の研究会として予定されていた、内田真人氏（成城大学社会イノベーション学部教授）による「金融イノベーションについて」（仮題）を公開研究会に切り替えたうえで、2025 年 1 月 11 日（土）に政治経済研究所 3 階会議室において、zoom および対面にて開催すると提案が行われた。

理事会は、有効議席 8 名中 8 名の賛成でこの提案を可決した。

第 2 号議題 主任研究員の任用

議案 1 齊藤義彦氏を主任研究員に任用することを研究委員会に諮問する

福光理事は、齊藤義彦氏の経歴及び研究業績を紹介したうえで、主任研究員に任用することを研究委員会に諮問するとの提案を行った。

理事会は、有効議席 8 名中 8 名の賛成でこの提案を可決した。

第 3 号議題 『政経研究時報』業務請負契約

議案 1 『時報』27-3 号編集を澁谷朋樹氏に委託する

齋藤正美業務執行理事は、2024 年 10 月 1 日～2024 年 12 月 31 日までの期間、『政経研究時報』27-3 号の業務請負契約を、澁谷朋樹氏と結ぶ提案を行った。

理事会は、有効議席 8 名中 8 名の賛成でこの提案を可決した。

第 4 号議題 給与の改定について

議案 1 短時間勤務者の時給を 1170 円に改定する

石田博美業務執行理事は、2024 年 10 月 1 日より東京都の最低賃金が 1113 円から 1163 円に 50 円引き上げられたことを受け、短時間勤務者の時給を 1120 円から 50 円引き上げて 1170 円に改定する提案を行った。

理事会は、有効議席 8 名中 8 名の賛成でこの提案を可決した。

第 5 号議題 業務執行報告の審議

議案 1 業務執行報告を承認する

齋藤壽彦代表理事、石田博美業務執行理事、齋藤正美業務執行理事は、2024 年 4 月～9 月期における業務執行報告を行い、理事会に承認を求めた。
理事会は、有効議席 8 名中 8 名の賛成で業務執行報告の承認を可決した。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。
次回以降の理事会は、11 月 15 日（金）、12 月 20 日（金）に開催予定である。
以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

公益財団法人政治経済研究所

議 長 齊藤 壽彦



署 名 人 長谷川元彦



比江島大和



出席監事 国吉昌晴



(監事)



2024 年度第 7 回理事会議事録

2024 年 11 月 15 日（金）17 時 00 分～19 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web 会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長）石田博美 大岡聡 齋藤正美 長谷川元彦

比江島大和 福光寛 柳啓明

理事 9 名中 8 名出席（太田は Web 会議システムによる参加）

出席監事は以下の通りである。

国吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、福光理事、齋藤正美理事を選任した。

[報告事項]

●刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事は、No.122 の振り返り、No.123 の進捗状況、新たな連載特集のテーマの検討等について審議が行われたと報告した。

▼ 政経研究時報

福光理事より、27-3 号、27-4 号の進捗状況について報告が行われた。

●公開研究会

福光理事は、第 3 回公開研究会を、11 月 9 日に田中禎昭（専修大学教授）が「戦争とトラウマ―東京空襲の体験画から」を報告した。また、2025 年度の公開研究会登壇者の候補について報告した。

●各種研究会

福光理事は、前回理事会に引き続き、開催予定・調整中の各種研究会について報告した。

●大島資料について

柳理事より、大島家文書の進捗状況について、11 月 4 日に開催されたふじみ野市文化協会の市民講座と関係者による会合、11 月 8 日に開催された埼玉県地域史料保存活用連絡協議会への参加報告などの報告が行われた。

●その他研究委員会から

福光理事より、政経研究時報郵送配本体制当面維持の提案（たたき台）、『政経研究』の編集発行と PDF 公開、全刊行物のオープンアクセス化を目標とする提案（た

たたき台）、齊藤美彦氏を主任研究員に任用する件、政経研究優秀論文賞規程案等について報告が行われた。

●東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田業務執行理事は、第 5 回運営委員会（10 月 21 日）について、財務対策 JP センター委員会報告（募金、グッズ販売、自動販売機設置等）、寄付呼び掛け文・会員サービス、会員に関する規程の改訂、賛育病院の焼け焦げた部屋、話輪和通信の発送、平和学習プログラム及び教材の開発、空襲体験の継承事業、体験者の聞き取り事業、市民講座の運営状況等について報告した。また、第 6 回について、写真の企画展「丸山博写真展―2023/2024 ウクライナ」（仮）の開催、寄付の呼びかけ、自動販売機関連、「つどい」の準備状況等について報告が行われた。

●財務対策プロジェクト

長谷川理事と柳理事は、10 月 28 日の財務対策 PJ チームの会合の内容について、政治経済研究所と東京大空襲・戦災資料センターの取り組みがそれぞれ報告され、今後の過程や課題について共有されたと報告した。

●中間決算

長谷川理事は 2024 年度の中間決算について報告を行った。

[審議事項]

第 1 号議題 主任研究員の任用

議案 1 研究委員会の答申を受けて齊藤美彦氏を主任研究員に任用する。

福光理事は、齊藤義彦氏を主任研究員に任用することを研究委員会に諮問した結果、同委は任用について承認したため、理事会に任用の承認を求めた。

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成でこの提案を可決した。

第 2 号議題 一時金について

議案 1 一時金を支給する

石田理事は、資料「2024 年度賞与の支払いについて」を示し、賞与の支払いについて提案した。

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成でこの提案を可決した。

第 3 号議題 憲法研究室に対する図書費支給について

議案 1 憲法研究室に図書費を支給する

福光理事と柳理事は、憲法研究室の研究費支給の状況について報告を行い、憲法研究室に図書費を支給する件について提案を行った。

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成でこの提案を可決した。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。
次回以降の理事会は、12 月 20 日（金）、2024 年 1 月 17 日（金）、2 月 14 日（金）に開催予
定である。
以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

公益財団法人政治経済研究所

議 長 齊藤 壽彦



署 名 人 福光 寛



齋藤正美



出席監事 国吉昌晴



(代表理事)

捨印

(理事)

捨印

捨印

(監事)

捨印

2024 年度第 8 回理事会議事録

2024 年 12 月 20 日（金）17 時 00 分～19 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web 会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長）石田博美 大岡聡 太田三郎 齊藤正美 長谷川元彦

比江島大和 福光寛 柳啓明

理事 9 名中 9 名出席（太田は Web 会議システムによる参加）

出席監事は以下の通りである。

国吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、石田理事、柳理事を選任した。

[報告事項]

●刊行物について

▼ 編集委員会

齊藤正美理は、No.123 の進捗や、新たな連載特集のテーマの審議の状況について報告した。

▼ 政経研究時報

福光理事より、27-3 号、27-4 号の進捗状況について報告が行われた。

●公開研究会

福光理事は、第 4 回公開研究会を、1 月 11 日に、内田真人（成城大学教授）が、「日本の銀行サービスは金融イノベーションに対応できているか？」をテーマに行なうことを報告した。また、2025 年度の公開研究会登壇者の候補について報告した。

●各種研究会

福光理事は、前回理事会に引き続き、開催予定・調整中の各種研究会について報告した。

●大島資料について

柳理事より、大島家文書の進捗状況について、下記の通り報告された。

2024 年 12 月 15 日、ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館にて、当財団、文京学院大学、ふじみ野市教育委員会が、分有に向けた会合を開催した。3 月の教育長依頼書に基づき、政治経済研究所の受贈決議や教育委員会からの寄贈決定通知、文京学院大学の保管場所提供など、段階的手続きを合意し、3 者の分有を進める方針を再確認した。また、保管場所や搬出人件費などの課題は今後も検討を続ける

こととなった。ただし、これらは実務者間の協議である。

さらに当日は、同館で研究者・住民らによる歴史資料を読み解くイベントも開かれ、1950 年代の生活協同組合機関誌を通して地域の歴史と記憶を振り返り、活発な意見交換が行われた。

●その他研究委員会から

福光理事より、次の通り報告された。①PDF 掲載の遅れは解消されたが、HP 上では刊行停止に見え誤解の恐れあり。②政経研究時報の配本体制は当面現状維持とする。③オープンアクセス化では政経研究の公開待機期間を半年に短縮することを目指す。④会員規程改定については継続審議。⑤『政経研究』奨励賞規程は名称を維持し改正案を再提起し、2025 年度適用予定で 2024 年度掲載論文も対象とする。⑥憲法研究室へ図書費を計上を決定した。

●東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事より、2024 年 12 月 2 日の第 7 回運営委員会の報告・審議内容として、①『センターから歩く』の在庫がわずかになっているため、増刷が可能か印刷所に問い合わせる、②平和学習・教材のチームでフィールドワークのガイド養成やブックレット化の検討、③改訂版「多摩被災地図」の印刷と販売、④ウクライナ写真展の趣旨文公開と宣伝、⑤財務 JP の報告、⑥自動販売機のラッピングのデザインについて承認、⑦「つどい」のプログラム案の検討、⑧ニュース No.46 のページ構成案の決定、⑨江東区観光情報公式 LINE「KOTO おでかけパス」への情報掲載について報告が行なわれた。

●評議員会スケジュールと理事交代

柳理事より、3 月 14 日（金）開催でスケジュールの調整が進んでいると報告が行なわれた。

●維持会員の定義についての議論

福光理事より、維持会員の資格等についての、研究委員会における議論の進捗状況が報告された。

●賃貸物件の決裁

長谷川理事より、曳舟のマンションの購入手続きについて 12 月 2 日に完了した件、西新井のマンションが空室となったため店子を探している状況である件について報告が行なわれた。

[審議事項]

第 1 号議題 大島資料問題

議案 1 大島資料の受贈を理事長に一任する

柳理事は、大島家文書に関する事業の進捗状況について報告を行ない、ふじみ野市教育委員会からの寄贈の依頼に対する返答内容について、理事長に一任するとの提案を行なった。

理事会は有効議席 8 名中 8 名の賛成でこの提案を可決した。



以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。
次回以降の理事会は、2024 年 1 月 17 日（金）、2 月 14 日（金）に開催予定である。
以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

公益財団法人政治経済研究所

議 長 齊藤 壽彦



署 名 人 石田 博美



柳 啓明



出席監事 国吉昌晴



(代表理事)

捨印

(理事)



(監事)



2024 年度第 9 回理事会議事録

2025 年 1 月 17 日（金）17 時 00 分～19 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web 会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長） 石田博美 太田三郎 齋藤正美 長谷川元彦
比江島大和 福光寛 柳啓明
理事 9 名中 8 名出席
（齋藤壽彦、太田、比江島、長谷川は Web 会議システムによる参加）
出席監事は以下の通りである。

井上礎幸 2 名中 1 名出席
ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。
代表理事が議長となり、開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、太田理事、柳理事を選任した。

[報告事項]

- 刊行物について
 - ▼ 編集委員会
齋藤正美理事より、No.123 の進捗状況について報告がなされた。特に、投稿論文の多さと査読プロセスの課題について議論があった。論文のフォーマット統一や注記・引用文献表記の整理が求められている。
 - ▼ 福光理事より、27-4 号の進捗状況について報告が行われた。
- 公開研究会
福光理事より、1 月 11 日に開催された第 4 回公開研究会について報告が行われた。参加者が 20 名程度にとどまった要因について議論され、今後の広報活動の強化が求められた。
また、次回の公開研究会について、稲正樹（元国際基督教大学教授）を講師の依頼をする予定であることが報告された。
- 各種研究会
福光理事より、2025 年度の研究会計画について下記の通り報告が行われた。①研究費を配分しているグループ研究から講師推薦を依頼。②2025 年度前半に現代経済研究室より研究報告を予定。③2024 年度実施が保留されている研究会について、引き続き連絡を取る。
- 大島資料について
柳理事より、以下の点について報告が行われた。

文政学院大学の学生アルバイト 3 名による資料分類作業が進行中。①資料の量が当初の想定以上に多く、保存スペースの確保が課題。②無償または低コストの保存場所を確保するため、長野県の関係者と交渉を進めている。③研究所が保存すべき資料の量を早急に確定する必要がある。

- その他研究委員会から
福光理事より、次の通り報告された。①研究配分費の申請手続きが 2 月より開始され、3 月末を締切とする予定。②オープンアクセス化に関し、政経研究の公開待機期間を半年に短縮する方針。③『政経研究』奨励賞規程について、名称を維持しつつ改正案を再提起し、2025 年度適用予定とする。④2026 年度に向けた 80 周年記念事業について、講演会や特別研究会の開催可能性が検討されている。
- 東京大空襲・戦災資料センター運営報告
石田理事より、2024 年 12 月 2 日の第 7 回運営委員会の報告・審議内容として、下記の通り報告が行われた。①11 月の来館者数は引き続き増加傾向にあり、年度内で 1 万人達成が見込まれる。②会費収入・募金額ともに停滞しており、2 月のニュース発行を契機に支援を促進する方針。③近隣の学校による修学旅行向けの来館が増えており、対応体制の強化が求められている。④体験者の高齢化が進み、講話の実施が難しくなっているため、ビデオ収録や録音資料の活用を検討中。⑤2 月 5 日～4 月 4 日まで特別展示を予定しており、関連イベントも計画されている。
- 評議員会スケジュールと理事交代
3 月 14 日（金）17:00 より評議員会が開催される。理事の人事については変更なし。
- 維持会員の定義についての議論
福光理事より、会員規程改訂について報告がなされた。特に、各会員の特典や役割を整理し、維持会員の位置づけを明確化する必要があることが議論された。
- 賃貸物件の決裁
長谷川理事より、曳舟のマンションの購入手続きについて 12 月 2 日に完了した件、西新井のマンションが空室となったため店子を探している状況である件について報告が行なわれた。

[審議事項]

- 第 1 号議題 『政経研究時報』業務請負契約
議案 1 『時報』27-4 号編集を澁谷朋樹氏に委託する
齋藤正美理事は、『政経研究時報』27-4 号を澁谷朋樹氏に委託する契約について、提案を行った。
理事会は有効議席 7 名中 7 名の賛成でこの提案を可決した。
- 第 1 号議題 評議員会の日程決定
議案 1 評議員会を 3 月 14 日に開催する
柳理事は、評議員との日程調整の結果として、評議員会を 2025 年 3 月 14 日（金）17 時～開催することを提案した。
理事会は有効議席 7 名中 7 名の賛成でこの提案を可決した。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。
次回以降の理事会は、2025 年 2 月 14 日（金）、3 月 14 日（金）に開催予定である。また、2
月 6 日は敷地内の祠で初午のお祝いが行われる。
以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2025 年 1 月 24 日

公益財団法人政治経済研究所

議 長 齊藤 壽彦



署 名 人 太田三郎



柳 啓明



出席監事

~~国吉昌晴~~



井上礎幸



捨印

(理事)



捨印



2024 年度第 10 回理事会議事録

2025 年 2 月 14 日（金）17 時 00 分～19 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web 会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長）石田博美 太田三郎 齋藤正美 長谷川元彦

比江島大和 福光寛

理事 9 名中 7 名出席

（太田、比江島は Web 会議システムによる参加）

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、長谷川理事、比江島理事を選任した。

[報告事項]

●刊行物について

編集委員会

齋藤正美理事より、『政経研究』No.124 の進捗状況について報告がなされた。福光理事より、『政経研究時報』27－4 号の進捗状況について報告がなされた。

●公開研究会

福光理事より、2025 年度公開研究会のスケジュールと講師について案が報告された。

●各種研究会

福光理事より、2025 年度研究費申請。審査について報告がなされた。審議事項とする。

●東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事より、2025 年 1 月 20 日の第 8 回運営委員会の報告・審議内容として、下記の通り報告が行われた。①12 月末の来館者数は昨年度の入館者数を上回った。②会費収入・募金額ともに停滞しており、2 月のニュース発行を契機に支援を促進する方針。③ダイドードリンコ株式会社との提携により平和のメッセージの出る自販機を設置した。④おあしす福社会ピアワーク・オアシスの木工品の委託販売を行う⑤『あのと子どもだった』の在庫が少なくなっているため増刷を検討する。

[審議事項]

第 1 号議題 2025 年度事業計画について

議案 1 2025 年度事業計画案を議決する

齋藤正美、石田両理事は 2025 年度事業計画について提案を行った。

理事会は一部字句を修正することを条件に有効議席 6 名中 6 名の賛成でこの提案を可決した。

第 2 号議題 2025 年度予算について

議案 1 2025 年度予算案を議決する

長谷川理事は 2025 年度予算案について提案を行った。

理事会は有効議席 6 名中 6 名の賛成でこの提案を可決した。

第 3 号議題 2025 年度第 1 回公開研究会

議案 1 第 1 回公開研究会の開催を議決する

福光理事は第 1 回公開研究会について下記のとおり提案を行った。

日時：6 月 7 日 午後 2 時～4 時

報告者：稲正樹（元国際基督教大学教授）

論題：憲法の平和主義について（仮題）

理事会は有効議席 6 名中 6 名の賛成でこの提案を可決した。

第 4 号議題 2025 年度の研究費申請・審査要項

議案 1 2025 年度の研究費申請・審査要項を議決する

福光理事は 2025 年度の研究費申請・審査要項について下記のとおり提案を行った。

募集：2 月 17 日～3 月 27 日

審査：4 月 7 日（研究委員会）

理事会は有効議席 6 名中 6 名の賛成でこの提案を可決した。

第 5 号議題 会員に関する規程

議題 1 第 3 条、第 6 条を変更することを議決する

福光理事は会員に関する規程の変更案について提案を行った。

理事会は有効議席 6 名中 6 名の賛成でこの提案を可決した。

理事会は議決された第 1 号議題 2025 年度事業計画および第 2 号議題 2025 年度予算を 3 月評議員会に提案することを確認した。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。

以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

公益財団法人政治経済研究所

議 長 齊藤 壽彦



署 名 人 長谷川 元彦



比江島 大和



出席監事 国吉昌晴



(理事)



(監事)



2024 年度第 11 回理事会議事録

2025 年 3 月 14 日（金）17 時 00 分～19 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web 会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長）石田博美 大岡聡 太田三郎

齋藤正美 長谷川元彦 比江島大和 柳啓明

理事 9 名中 8 名出席

（太田、大岡は Web 会議システムによる参加）

出席監事は以下の通りである。

井上礎幸 国吉昌晴 2 名中 2 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、齋藤正美理事、太田理事を選任した。

[報告事項]

●刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、No.124（2025 年 6 月刊行予定）の進捗状況について報告がなされた。また、外注（蒼天社）で顕在化した課題と改善策安（執筆要綱整備、図表データ形式統一、締切厳格化、複数回の校正有を料化、依頼論文の確保、抜刷廃止・PDF 化、査読謝金 1 万円等）を共有。

▼ 齊藤壽彦代表理事より、27-4 号の進捗状況について報告が行われた。

●公開研究会

齊藤壽彦代表理事より、2025 年度の公開研究会は、6 月に稲正樹氏「憲法の平和主義」、7～9 月に松本朗氏、11 月に藤原修氏を予定し、以降も 80 周年記念の研究会として複数候補と調整中であるとの報告が行われた。

●各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、2025 年度は過年度研究費配分先に報告を依頼する、前半は齋藤正美氏・野口プロジェクト、後半は小園プロジェクト・吉田プロジェクトと交渉予定。

●大島資料について

柳理事より、①政経研による受入れを 2 月 6 日付で正式に通知、②搬出先は文京学院大学・埼玉民医連・ふじみ野市教委に確保され、5 月連休までの搬出を目指し、3～4 月に学生・地域住民のアルバイトで作業予定、③文京学院大学では大島資料を活用

した 3 年間の共同研究が始動し、研究・広報での連携を文書化する方向で調整中、との報告が行われた。

●その他研究委員会から

齊藤壽彦代表理事より、種々議論の概要が報告された。

●東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事より、①2024 年度は 3 月以降に来館が急増しており、年度末までに 1 万人超が確実な見込み、②オリジナル・マスキングテープ（700 本製作、原価 352 円／本）を 2 本 400 円で販売開始等収益確保策の報告、③NHK を含む取材が殺到し、新聞・テレビ・Web での露出が大幅増・YouTube で 80 周年記念ドキュメンタリーの予告編を公開、④2025 年度も連続市民講座を継続・旧企画展図録『あのとき子どもだった』の復刻・第 2 集刊行を視野にクラウドファンディングを準備中などの報告が行われた。

[審議事項]

評議員会の開催に先立ち、議事の進行予定などが確認された。

[審議事項]

第 1 号議題 『政経研究』奨励賞規定

議案 1 『政経研究』奨励賞規定を改正する

齋藤正美理事は、下記の通り『政経研究』奨励賞規定の次ページ表 1 の通り改定案を示し、理事会に審議を求めた。

理事会は有効議席 7 名中 7 名の賛成で改正案を可決した。

表 1

条文	旧規程（2016年施行）	新規程（2025年施行）
第 1 条趣旨	研究論文・学術図書を顕彰し、学術発展に寄与する。	研究活動を奨励し、政治経済研究所を通した研究を活性化する。
第 2 条対象／資格	40 歳代までの個人・共同研究者。	前年刊行『政経研究』掲載 単著論文。著者は①大学院入学後 18 年以内 または ②40 歳未満。
第 3 条賞（副賞）	表彰状＋副賞 10 万円。	表彰状＋研究報告機会＋副賞 3 万円。
第 4 条件数／頻度	毎年 1 件まで。	毎年 1 名を選考。
第 5 条対象期間	過去 3 年間に刊行された論文・図書。	前年刊行号の論文のみ。
第 6 条推薦期間	1～3 月に推薦を募集（Web・メールで告知）。	編集委員長が新年最初の編集委員会後に対象有無を代表理事と協議し研究委員会へ報告。
第 7 条推薦人／選考委員	研究員・研究会員が自薦・他薦可。	研究委員会が選考委員会を設置：編集委員長・該当論文査読者・代表理事で構成。
第 8 条改廃	記載なし（慣例で理事会議決）。	理事会議決を明記。
付則	2016 年 11 月 23 日施行。	2025 年 4 月 1 日施行。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。
次回以降の理事会は、2025 年 4 月 18 日（金）、5 月 16 日（金）に開催予定である。
以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2025 年 3 月 21 日

公益財団法人政治経済研究所

議 長 齊藤 壽彦



署 名 人 太田三郎



齋藤正美



出席監事 井上礎幸



国吉昌晴



(代表理事)

捨印

(理事)



(監事)

